

事業コード	02020148			政策コード	02	政 策 名	社会の変革へ果敢に挑む産業振興戦略					
事 業 名	リモートワーク環境整備支援事業			施策コード	02	施 策 名	中小企業・小規模企業者の活性化と生産性向上					
				指標コード	01	施策目標(指標)名	持続的発展に向けた企業の経営基盤の強化					
部 局 名	産業労働部	課 室 名	産業政策課デジタルイノベーシ	班名	デジタルイノベーション戦略班		(tel)	2245	担当課長名	小林栄幸	担当者名	黒田逸人
評 価 対 象 事 業 (計 画) の 内 容										事業年度	令和02年度 ~ 令和02年度	

1．事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか)
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、人との接触を防ぐためのＩＣＴツールの導入は緊急を要する。また、県内企業等のＩＣＴ環境を俯瞰すると、非対面型ビジネスモデルに必要不可欠なりモートワーク環境の整備が進んでおらず、導入の余地は大きい。従って、将来のＩｏＴ基盤を整備し業務効率化や生産性向上等を実現するためにもリモートワーク環境の整備は必要である。

2．住民ニーズの状況
ニーズを把握した対象
■ 受益者 □ 一般県民 （時期： R02 年 05 月）
ニーズの把握の方法
□ アンケート調査 □ 各種委員会及び審議会 ■ ヒアリング □ インターネット
□ その他の手法 （具体的に ）
ニーズの具体的内容
ネットワーク環境の整備及びリモートワークの実施の状況をヒアリングしたところ、在宅勤務やW E B会議を検討しているが、導入の際の費用負担が課題となっているとの意見が出されている。従って、費用の一部助成には一定程度のニーズが存在しているものと考えられる。

把握していない場合の理由及び今後の方針

理由	
今後の方針	

3．事業目的（どういう状態にしたいのか）
県内中小企業等によるリモートワーク環境の整備を支援することにより、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等を図るとともに、多様な働き方による業務効率化や生産性向上、新たなサービスの創出等の付加価値向上を図る。

(重点施策推進方針との関係) ● 重点事業として要望 ○ その他事業として要望

4．目的達成のための方法

事業の実施主体	県
事業の対象者・団体	県内中小企業、団体
達成のための手段	ネットワーク経由で業務を実施することにより、感染症対策（在宅勤務、W E B会議等）及び生産性向上、新たなサービス提供等の付加価値を生み出すリモートワーク環境の整備に対し導入経費の一部を助成する。

比較した代替手段及び選択した手段の有効性
県がネットワーク機器等を手配し県内中小企業等に配ることも検討したが、感染症対策として緊急を要することから、各企業の実態に即した環境整備に対して費用の一部を助成する方が効果的と判断した。

5．事業の全体計画及び財源										単位(千円)	
順位	事業内訳		左 の 説 明		02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	全体(最終)計画
01	リモートワーク環境整備支援事業		ネットワーク経由で業務を実施し、感染症対策及び業務効率化、生産性向上、新サービスの提供等の付加価値を生む設備投資に費用の一部を助成する。		25,102	0	0	0	0	0	25,102
財源内訳		左 の 説 明				25,102	0	0	0	0	25,102
国庫補助金						0	0	0	0	0	0
県債						0	0	0	0	0	0
その他						0	0	0	0	0	0
一般財源						25,102	0	0	0	0	25,102

